

平成30年12月歌舞伎公演
三世柳川如幸 作 国立劇場文芸研究会 編輯

通し
狂言

増補双級巴

石川五右衛門
中村吉右衛門宙乗りにて
つづら抜け相勤め申し候

五右衛門と弟おたき
中村雀石衛門

萬葉御台所の台
中村東蔵

足利義輝
中村錦之助

石川五右衛門
中村吉右衛門

此下藤吉源次吉
足利義輝源次吉
尾上菊之助

12月3日(月)―26日(水)

12時開演 但し13日は午後4時開演

予約開始日 11月6日(火) 窓口販売開始 11月7日(水)

※チケット完売 午前10時・午後6時・※販売中に別枠でのお取り置きはございません

国立劇場チケットセンター (〒100-8001 東京都千代田区千代田1-10-10)

インターネット: <http://ticket.nac.go.jp/> (スマートフォン: <http://ticket.nac.go.jp/m>)

※観劇料金税込 ※中学生以下は半額 ※特別席12500円／一等A席9800円／二等B席6400円／二等A席4900円／三等席1800円

千代田の次女衛門
中村歌六

東京・半蔵門

国立劇場

大劇場



大谷桂三

嵐橋三郎

中村吉之丞

中村米吉

中村種之助

中村歌昇

中村松江

増補双級巴

四幕九場

石川五右衛門

中村吉右衛門宙乗りにて
つつら抜け相勤め申し候

国立劇場美術係・美術

発端	芥川の間
序幕	壬生村次左衛門内の間
二幕目	第一場 大手並木松屋の間
第三幕目	第一場 志賀足尾利別館奥御殿の間 第二場 松並木行列の間 第三場 木屋町二階の間 第四場 奥庭の間
大詰	第一場 五右衛門隠家の間 第二場 藤の森明神神物の間

石川五右衛門
中村 吉右衛門
中村 歌六
中村 又五郎
尾上 菊之助
大木 実太郎
中村 松江
中村 歌昇
中村 種之助
中村 米吉
中村 吉之丞
大谷 桂三
足利 錦之助
中村 雀右衛門
中村 東蔵

この作品は、大盗賊の石川五右衛門を題材にした複数の作品を繋ぎ合わせ、五右衛門の生涯を綴った一つの物語として構成されています。盗賊としての痛快な活躍だけでなく、五右衛門の家族の情愛や胸中の葛藤に焦点を当てた人間ドラマが描かれています。幕末から明治にかけて繰り返上演されたが、大正・昭和初期には、初代中村吉右衛門が五右衛門をたびたび演じました。今回、その五右衛門を当代吉右衛門が継承し、「通し狂言」として新たに補綴した台本で勤めます。五十年ぶりの上演となる「五右衛門隠家」を中心に、七十年ぶりの「壬生村」や九十年ぶりの「木屋町二階」の復活にも、大きな期待が寄せられています。

大名の風を宿す奥女中が百姓次左衛門に金を盗られて殺される「芥川」。この時に生み落とされた赤子が、次左衛門に育てられて成長し、二十六年後の「壬生村」で石川五右衛門となつて登場します。次左衛門は、盗賊となつた五右衛門を諷めて自害を図り、誤って愛娘を死なせます。五右衛門は、生みの母が所持していた系図を次左衛門から見られ、自分が西国の大名人・大内義弘の遺児であることを知り、天下を狙う野望を抱いた五右衛門は、勅使に化け、將軍・足利義輝の館に乗り込みます。そこに、竹馬の友・此下藤吉郎・久吉（後の真築院・前守久吉）が現れて、勅使の正体を見破ります。五右衛門は葛藤を背負つて空中に姿を現し、悠然と飛び去ります。五右衛門の「葛籠抜け」の宙乗りは、本作で考案された巧みな趣向です。以上の場面が、本作では、実は京・木屋町の宿屋の二階で寝ていた五右衛門の夢だったという設定です。巡礼に装束した久吉が、お尋ね者の五右衛門の姿に目を留めます。歌舞伎の名場面「金門五山祠」の「南禅寺山門」のロケイターを覗いたくなります。町中に身を潜める五右衛門の隠れ家では、後妻のおたきが先妻の子の五郎市を邪慳に抱え、五右衛門は夫と父の両方の心内を五右衛門に明かし、絶命します。五右衛門は妻の心を知つて涙に咽びます。盗賊であるがゆえに妻子への情愛が深い苦悩をもたらす五右衛門の悲劇は、胸に迫ります。京の郊外・藤の森で、捕手に追い詰められた五右衛門の前に、身を想いながら、縄を打たれて静かに最後の場に向かいます。波瀾万丈の運命を辿る五右衛門を吉右衛門が勤めるほか、周囲を彩る登場人物にも好配役が揃いました。平成三十年の掉尾を飾る必見の舞台にご期待ください。

12月3日(月)―26日(水)

12時間演 (4時20分終演予定)

13日(木)は午後4時間演 (8時20分終演予定)

〔電話〕国立劇場チケットセンター (午前10時～午後6時) 0570(07)9900 03(3230)3000〔一都庁電話〕
〔インターネット〕パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> スマートフォン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>
〔プレイガイド〕チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/> / e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

12月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
12:00	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
4:00	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

予約開始 11月6日(火) 午前10時～

窓口販売開始: 11月7日(水) (チケット発売午前10時～午後6時)

*窓口販売用・別券での取り置きはございません。

ご観劇料(税込): 特別席12,500円 (学生8,800円) 1等A席9,800円 (学生6,900円) 1等B席6,400円 (学生4,500円) 2等A席4,900円 (学生3,400円) 2等B席2,700円 (学生1,900円) 3等席1,800円 (学生1,300円)

※3等席に限り、予約開始初日は、お一人様1ステージ2枚までの購入に限定させていただきます。
※障害者の方は、2割引きです。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

国立劇場 託児室 月・水・土・日・祝日に開設。ご利用には、事前のご予約が必要です。(定員になり次第、締め切らせていただきます。)
ご予約・お問い合わせは: イベント利用・マザーズ 0120(788)222 <http://www.mothers-inc.co.jp/>
(受付時間)平日午前10時～12時、午後1時～5時 料金: (0歳～1歳)2,000円 / (2歳～12歳)1,000円

国立劇場 あぜくら会 入会受付中! ▶▶チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載!
お問い合わせはあぜくら会事務局 03-3264-0555 平日午前10時～午後5時(土・日・祝日・年末年始)まで
詳しくはあぜくら会HP <https://www.ntj.jac.go.jp/member>

東京・半蔵門 国立劇場 大劇場
●地下鉄 半蔵門駅(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩5分 有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
●都バス 都03(南海線)一徳四丁目(四谷駅) (三宅線)徒歩1分(本数減少)
都75(前橋駅西口―日田駅)四谷駅(三宅線) (三宅線)徒歩1分(本数減少)
●都バス 終演時に運行(東京・新宿・新宿・渋谷方面行) (有料)
●駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。



〒102-8656 東京都千代田区幸町4-1 Tel 03(3265)7411〔代表〕 <https://www.ntj.jac.go.jp/>

研修生募集 歌舞伎俳優・歌舞伎音楽(竹本・鳴物・長唄) 〈お問い合わせ〉国立劇場養成課 TEL 03(3265)7105